

石川町立中谷第一小学校

教科名等：学級活動

単元(題材)名：男女の協力

学 年：第4・5学年（複式学級）

実施状況

11月22日（月）の午後に公開授業を実施しました。地区内の教職員や保護者などの参観をいただきました。

「もし、生まれ変われるなら男の人と女の人のどちらがいい？」という問いから、男女のイメージの中に潜む差別意識をあぶり出し、

「性差別の必要はないこと」、しかし「男女の区別はあり、お互いに協力していくことが大切であること」など、これまでにない視点から男女の協力を迫った授業を公開しました。また、女性にとって大変な

出産における男性の協力の重要性についても考えさせ、「男女の区別がなくても協力できること」、「男女の区別があって協力が必要なこと」を学びました。



児童の感想

- ・ 男の人と女の人がお互いに協力し合うことが大事なんだと思いました。
- ・ 授業を受けて、男女の差がないことや赤ちゃんが生まれる時には男の人と女の人が助け合いながらしなければならないことが分かりました。
- ・ 男の人は出産はできないけれど、できることを手伝ってあげると女の人が助かるから、女の人と男の人が協力すればいいんだと思いました。
- ・ 私は、男女の差がすごくあるというイメージがあったので、男女の差はないということにおどろきました。それに、女の人は大変だと思っていたけど、協力すればいいんだと思いました。

参観者の感想

- ・ これからますます女性が社会に進出する中で、今日のような授業は大切だなと感じました。
- ・ 児童は思ったことを発言し、とてもおもしろく楽しい授業でした。男性に手伝ってもらうことで少子化などの歯止めがかかればいいと思いました。
- ・ 「不公平」「出産の大変さ」を考える場面では、子どもの実感を大切にしたいと思いました。
- ・ 子どもたちが明るく元気いっぱい、活発な意見が飛び交っていました。学級の雰囲気もよかったです。やはり男性が楽なイメージありますが、男性がもっと関わりを持つことに気付いてほしいと思いました。
- ・ 教師と子ども、子ども同士が信頼し、認め合っている雰囲気がとてもよく、それだけで男女共同参画社会の趣旨が果たせていると思いました。

指導者の感想

今回の授業をきっかけに、我々教師自身もこの「男女共同参画社会」について真剣に向き合うことができました。また、本時では地域の方々に授業を参観していただくことができました。

小学生の段階から少しずつ「男女共同参画」の意識を持たせ積み重ねていくことによって、子どもたちが社会人になったとき、男女共同参画社会へのいろいろな取り組みが成果としてあらわれるのだと思います。そのためにも、身近な問題として常に意識し、継続的に取り組んでいきたいと考えます。